Ai-sCare+

介護施設向け AI 見守りシステム

夜間の見守りに、
安心とゆとりを。

AIカメラとベッドセンサーが、居室の変化を見守る。
異常を検知したら、スタッフのiPadへ通知。
現場で確かめた見守りを、導入しやすい価格で。

8施設
700室
実施設での導入・運用実績

居室の状態を一覧で把握



実際の画面

施設での効果検証

夜間巡回・確認作業の
負担軽減を確認

初期・運用コストを抑える

低コストAIカメラから
始める新しい見守り

見守りの負担を軽く。
人にしかできないケアへ、もっと時間を。

企画・開発・運営・保守
株式会社日昇テクノロジー

介護現場の課題から生まれた

「見逃せない」と「手が足りない」。
その両方に向き合う見守りへ。

入居者の安全も、スタッフの働きやすさも。どちらも大切にするためのシステムです。

DEVELOPED FROM REAL CARE NEEDS

現場の声から企画され、施設運用で磨かれてきたシステム。

Ai-sCare+ の原点は、介護施設の現場で生まれた課題や要望です。現場での運用を通じて改善を重ね、現在は**株式会社日昇テクノロジーが事業運営・開発・保守を担っています。**

01

夜間巡回の負担

少ない人数で多くの居室を確認。必要な巡回を見極め、移動・確認の負担を軽くしたい。

02

異常を早く知りたい

転倒・離床・体調の変化など、対応が必要な場面をすばやく把握したい。

03

操作を簡単にしたい

多機能でも画面が複雑では困る。スタッフが迷わず使える仕組みがほしい。

> **AIが変化に気づき、人が確かめて、ケアにつなぐ。**
> **必要なときに、必要な人へ知らせる見守りを。**

Ai = AI + 愛
AIの技術と、人の「愛」を大切にした見守り

s = Secure
安心と安全への想い

Care+
介護に一歩先の価値を

現場の課題から、実際の業務改善へ。

介護施設での運用比較・効果検証を通じて、夜間巡回、確認作業、介護記録に関わる負担の軽減を確認してきました。

実際の介護施設で効果を検証

「見守りのための作業」を減らし、人にしかできないケアへ。

夜間巡回・状況確認・介護記録。現場の運用を見直し、スタッフの負担軽減につなげます。

介護施設での実証

机上の提案ではなく、現場で改善を重ねてきました。

従来の見守り方法と運用を比較し、巡回・確認・記録作業に関する改善効果を確認。AIの検知だけでなく、スタッフの一日の働き方を考えたシステムです。

従来の運用での課題		Ai-sCare+で目指す運用
01 夜間の定期巡回 各居室を定期的に見回り、状態を確認。確認のための移動や作業に時間がかかる。	→	**状態を見て、巡回を判断** 居室一覧や通知を参考に、確認が必要な居室の優先順位を付けやすくします。
02 誤報による確認 実際には異常がなくてもアラートが鳴り、スタッフの追加確認につながる。	→	**不要な確認作業を抑える** 介護現場の映像データを使い、誤検知の低減と検知精度の改善を継続します。
03 確認・記録の手間 見守り状況の確認や記録のため、複数の画面・入力作業が必要になる。	→	**見守り情報を、記録支援へ** 状況をまとめて把握。対応する介護記録ソフトとの連携を通じた効率化にも取り組みます。

業務負担の軽減は、実際の施設で確認された価値。

導入効果は施設の規模、運用体制、夜間の巡回方法、センサー構成によって異なります。現場の課題に合わせて導入方法をご提案します。

AIカメラのもう一つの価値

誤報を減らし、
必要な気づきを届ける。

転倒検知の難しさは、実際の居室環境にあります。見逃しの低減と誤報の抑制、その両方を目指します。



過去の施設検証画像より

単なる人の検出ではなく、姿勢と動きの変化を捉える。

人らしい形を捉えるだけでなく、転倒が疑われる場面かどうかを判断できるよう、介護現場の映像を活かして検証・改善を重ねています。

◐ 身体の一部が隠れる

家具・寝具などによる遮蔽がある場面。人の全身が映らない条件も、検証対象にしてきました。

↘ 通常と異なる姿勢

床に横たわる、姿勢が崩れるなど、転倒が疑われる複数の状況を検証します。

▦ 居室内の家具・車いす

家具や車いすが重なる場面では、人物の位置や動きの解析が難しくなります。

≋ 照明・背景による誤認

光量の変化や背景との同化など、不要なアラートにつながる条件を確認します。

CONTINUOUS IMPROVEMENT

実運用データを、次の検知改善に。

01 現場の映像
介護施設での実運用で得た知見

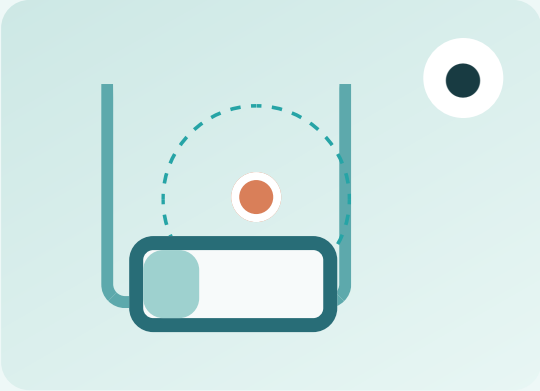
02 AIの検証・学習
姿勢・動作の特徴と誤報要因を分析

03 精度の継続改善
必要な通知を見極める性能を磨く

気づける

カメラとセンサーを組み合わせ、
居室の変化を幅広く見守る。

転倒の疑いから離床、心拍・呼吸の変化まで。状況に応じたセンサーを組み合わせます。



AIカメラ × ベッドセンサー

現場で必要な検知機能を、導入しやすい構成で。

映像解析と各種センサーの情報を組み合わせ、居室ごとの状況を把握。検知したイベントはクラウドを通じてスタッフのiPadへ通知します。

01 転倒・長時間の静止

AIカメラが姿勢・動きの変化を解析。転倒が疑われる場面などを検知し、通知します。

02 在室・不在／在床・離床

居室への出入りやベッドからの離床など、見守りに必要な状態変化を把握します。

03 心拍・呼吸の変化

対応する生体センサーで心拍・呼吸の変化を検知。注意が必要な兆候の把握を支援します。

※ 医療上の診断を行うものではありません。

04 トイレ・温湿度

トイレの滞在状況や居室の温度・湿度も、対応センサーを組み合わせて見守ります。

※ 対応するセンサー・項目は構成によります。

＋ AIカメラを中心に、ベッド・生体・トイレ・温湿度センサーを組み合わせた見守り。
施設に必要な機能を選び、スタッフには分かりやすい通知として届けます。

※ 本システムは介護者による判断・対応を支援するものであり、転倒等のすべての事象を検知・防止することを保証するものではありません。

現場の使いやすさを第一に

スタッフが使うのは、
基本の２画面だけ。

ふだんは全室の状況を一覧で。通知があったときだけ、該当する居室を開いて確認します。

Ai-sCare+ 居室モニタリング

表示例：在室・不在を一覧で確認



実際の居室一覧画面をもとに、施設を特定する情報を除いた掲載用画像

01 居室一覧（メイン画面）

普段はこの画面で全居室の在室・不在、見守り状態、アラートを確認。巡回の優先順位を判断しやすくします。

02 居室詳細（必要なときだけ）

通知を受けた居室を開き、詳細アラート・リアルタイム映像・録画を確認して、必要な対応につなげます。

PC管理

管理者はPCから、検知エリアや施設全体の設定、居室ごとのカメラ・センサー設定を遠隔管理。
スタッフの操作画面はシンプルに、管理機能は必要な担当者へ。

続けやすい運用まで設計

映像はカメラ内に保存。
必要な通知と記録は、つなぐ。

録画の保管方法から介護記録との連携まで、日々の運用負担を考えています。

48時間
通常録画の保存設定※

映像のクラウド保管が不要。

通常録画と転倒時のイベント録画をカメラ内に保存。必要な映像を手元に残しながら、クラウド動画ストレージの追加費用を抑えます。

01
イベントはiPadに通知

センサーやAIの検知イベントをクラウド経由で伝達。スタッフがすばやく状況を確認できます。

02
必要な録画を検索

PCから対象の居室・日時を指定し、カメラ内の録画を検索・ダウンロードできます。

03
プライバシーに配慮

動画を常時クラウドに保存しない構成。閲覧権限や保存期間の管理と組み合わせます。

介護記録との連携

使い慣れた介護記録ソフトを活かす。

Ai-sCare+ はブライト・ヴィーの「ケアデータコネクト（CDC）」へのイベント情報連携を確認済み。既存の介護記録システムとつなぐため、対象イベントや契約・設定条件を施設ごとに確認します。

Ai-sCare+
見守り・検知
→
ケアデータコネクト
イベント連携
→
介護記録システム
対応項目を個別確認

連携相談例：ほのぼのNEXT ／ カナミック ／ ワイズマン ／ ケアカルテ など

※ CDCへのイベント連携確認と、各介護記録ソフトへの本番連携は別途確認が必要です。対応可否・項目・費用はソフトウェア、契約・設定条件によります。

※ 通常録画の48時間保存は標準的な運用設定のご案内です。実際の保存期間はカメラ機種・録画設定・容量によって異なります。

Ai-sCare+

「AI見守りは高い」。
その常識を、変える。

介護施設で効果を確かめた見守りを、もっと身近に。
機器の導入費用と、長く使うための運用コストを見直しました。

施設実証

負担軽減を現場で検証

夜間巡回・確認、不要なアラート対応、介護記録作業など、現場業務の改善効果を確認しています。

低コスト

AIカメラを導入しやすく

見守りの中心となるAIカメラを、価格面からも導入しやすく。必要な機器を組み合わせて提案します。

追加費を抑制

録画はカメラ内に保存

通常録画は約48時間、カメラ内へ保存。クラウド動画ストレージの追加費用を抑えます。

高機能な見守りを、納得できる費用で。

AIカメラとベッドセンサーを主軸に、施設規模・居室環境に応じて必要な機能を組み合わせます。機器費用・設置工事・保守を分けてお見積りし、導入後の費用まで明確にします。

低価格を徹底追求

まずは、施設の課題をお聞かせください。

デモ・導入構成・お見積り・既存設備との連携についてご相談いただけます。

株式会社日昇テクノロジー　TEL：044-328-9098
www.dragonwake.com/lp/ai-scare/

※ 記載内容は2026年11月時点のご案内です。検知機能・保存期間・外部連携・価格は構成、環境、契約条件により異なります。掲載画面は施設名を除いた実画面に基づきます。Ai-sCare+は介護者の判断・対応を支援するシステムです。

© 2026 株式会社日昇テクノロジー